

加賀舞子海水浴場

丑の日の
丑の時間に泳ぐと
息災になると信じて
山から 野から
蟻のように集まり
旗のごとく、
海際を 彩る
一向一揆の子達よ
白山は更に高く
雲の峰を捧げ
源平攻防の
古道は
深い松の林に隠れて
興亡の跡も
見えない
潮騒は、静かに
松毬を落とす
少年の日の
土用 丑の日よ



加賀舞子は
「憧れの的」で
あった。
氷水、ラムネ
盆に、従兄弟と
飲んだ、大正
色の容器の
冷たい飲み物
褌を持つている
者は少なく
フリチンで泳ぐ
疲れて休む砂の
丘の向こうには
白山が
「いつも、ニニヨ」
していた。
「はまや」「一山」
「望海亭」
「ロンドン」
乗り合いはいかが
松岡タクシ……
真つ青な日本海。

